

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2318		
科目名	試合論		
担当教員	青山 亜紀		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 1		
講義室	1308	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学習のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（60%） F 2 課題解決（20%） I 1 理解・分析と読解（20%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義は、スポーツ試合の本質・機能・試合システムの構造、試合準備と試合構成、試合中における選手へのダイレクトな働きかけに関する方法、試合分析と試合の評価等のスポーツ試合に関わる問題を取り上げ、資料・視聴覚教材を用いて学習します。これによって競技構造の理解、トレーニング論的課題に対する理解を踏まえたスポーツ試合の位置づけを学習することができ、試合でのパフォーマンス発揮の問題を深く思考する能力を養います。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンシに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替 するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：試合、直接的試合準備、試合システム		
授業の趣旨	■副題 目標とする試合で最高の競技力を発揮するための理論と方法 ■授業の目的 スポーツ試合に関わる様々な問題を学習することにより（E 1）、試合での競技力発揮における問題に対して自ら解決することができる能力を養うことを目的とします（F 2, I 1）。 ■授業のポイント 競技スポーツにおいて、トレーニングの成果としての競技力を発揮する場は試合です。したがって、目標とする試合で最高の競技力を発揮するためには、競技力の形成方法であるトレーニングについての検討のみではなく、それを発揮する場である試合について様々な面からの検討が不可欠です。この授業では、スポーツの試合に関わる基礎的知識を修得し、実際の試合での競技力発揮の問題について広く検討することになります。		

総合到達目標	■目標とする試合で最高の競技力を発揮するために、スポーツの試合に関わる多方面の基礎的知識を修得し、実際の試合での競技力発揮における問題に対し、自ら解決することができる能力を身につける。 ・スポーツ試合の本質および機能、試合システムの構造を説明することができるようになる。（第1回～4回） ・試合準備と試合構成に関わる問題を説明することができるようになる。（第5回～6回） ・試合分析と試合の評価について説明することができるようになる。（第7回） ・スポーツの試合に関わる基礎的知識に基づき、実際の試合での競技力発揮の課題について適切に考察することができる。（第8回～15回）	
成績評価方法	■リアクションペーパー①（各授業における学習内容の確認）（50%）：適用ループリック E1 （評価の観点）試合における基礎的知識を実際の問題を踏まえて説明することができるか確認します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■リアクションペーパー② 3回（総合的な学習内容の理解度確認）（50%）：適用ループリック F2・I1 （評価の観点）授業の内容を各自の専門種目を踏まえて考察することができるか確認します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について確認する（I 1）。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業内容を確認する。 ④復習（120分）授業内容を確認し、次週からの各自の学習計画を作成する。
	2	①授業テーマ スポーツ科学における試合論の位置づけ ②授業概要 スポーツ科学における「試合論」の役割について学習する（E 1）。スポーツ科学における「試合論」の位置づけや概念を学ぶことにより、学問として「試合論」がどのような役割を担っているのかを自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）「試合論」の概念について確認しておく。 ④復習（120分）スポーツ科学における「試合論」の役割についてまとめる。
	3	①授業テーマ 試合の一般的特徴と構造 ②授業概要 試合での最大の競技力発揮のためには、その試合の特徴と構造を理解していなければならない。試合に関する基礎的知識を学習することにより（E 1）、試合の一般的特徴と構造について自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、競技力の構造についてまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、試合の概念および機能についてまとめる。
	4	①授業テーマ 試合システムと試合計画 ②授業概要 競技力を適切に向上させるために、試合計画および試合選択の重要性は高い。試合システムの分類や試合の選択方法を学習することにより（E 1）、競技力向上のために適切な試合計画の意義を自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）試合にはどのような種類が存在するか列挙する。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、試合システムと試合計画の一般的特性についてまとめる。
	5	①授業テーマ 直接的試合準備、5回目までの学習内容の理解度確認（リアクションペーパー②の1回目） ②授業概要 試合での最大の競技力発揮のために重要な枠割を担うのが直接的試合準備である。直接的試合準備の基礎的知識を学習し（E 1）、スポーツフォーム、ピークスポーツフォームと競技力発揮との関連性について自ら説明できるようにする（I 1）。また、授業後半に行われる理解度確認のリアクションペーパーとその後実施される解説の内容を踏まえて、これまでの学習内容の理解度を深める（F 2）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、スポーツフォームの概念についてまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、直接的試合準備の概念についてまとめる。
	6	①授業テーマ 試合準備に対する社会的・心理的サポート ②授業概要 近年、重要性の高まっている試合準備に対する社会的・心理的サポートについての基礎的知識を学習し（E 1）、自らその具体的方法について説明ができるようにする（I 1）。

	③予習（120分）試合準備にかかわるさまざまな要素について、具体的にどのようなものがあるか推論してくる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、社会的・心理的サポートの具体的方法についてまとめる。
7	①授業テーマ 試合分析と試合評価 ②授業概要 競技力向上のためには、試合について反省的に分析することが求められる。試合分析と試合評価における基礎的知識を学習し（E 1）、その意義と具体的実施方法について自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、トレーニングシステムにおける試合分析の位置づけをまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、試合分析および試合評価の具体的実施方法についてまとめる。
8	①授業テーマ トップ選手の試合計画―測定競技① ②授業概要 トップ選手の試合計画のうち測定競技に焦点を当て、単年次・多年次の試合計画、直接的試合準備、さらには試合でのパフォーマンスを左右する重要な要素である当日の試合行動について学習し（E 1）、測定競技の試合計画における一般的特徴について自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、測定競技の特性についてまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、測定競技の試合計画における一般的特性についてまとめる。
9	①授業テーマ トップ選手の試合計画―測定競技② ②授業概要 試合において最大の競技力発揮のためには、トレーニング以外の様々な準備と試合当日の行動が重要となる。この点について測定競技の特性を踏まえた具体的な例に基づき問題点を抽出し、実際の場面で自らが応用できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）試合当日の行動について、具体的な例を列挙する。 ④復習（120分）討議した内容についてまとめる。
10	①授業テーマ トップ選手の試合計画―評定競技①、10回目までの学習内容における理解度確認（リアクションペーパー②の2回目） ②授業概要 トップ選手の試合計画のうち評定競技に焦点を当て、単年次・多年次の試合計画、直接的試合準備、さらには試合でのパフォーマンスを左右する重要な要素である当日の試合行動について学習し、評定競技の試合計画における一般的特徴について自ら説明できるようにする（I 1）。また、授業後半に実施されるリアクションペーパーとその後解説される内容を踏まえ、これまでの学習内容の理解度を深める（F 2）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、測定競技の特性についてまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、評定競技の試合計画における一般的特性についてまとめる。
11	①授業テーマ トップ選手の試合計画―評定競技② ②授業概要 試合において最大の競技力発揮のためには、トレーニング以外の様々な準備と試合当日の行動が重要となる。この点について評定競技の特性を踏まえた具体的な例に基づき問題点を抽出し、実際の場面で自らが応用できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）試合当日の行動について、具体的な例を列挙する。 ④復習（120分）討議した内容についてまとめる。
12	①授業テーマ トップ選手の試合計画―判定競技① ②授業概要 トップ選手の試合計画のうち判定競技に焦点を当て、単年次・多年次の試合計画、直接的試合準備、さらには試合でのパフォーマンスを左右する重要な要素である当日の試合行動について学習し（E 1）、判定競技の試合計画における一般的特徴について自ら説明できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）トレーニング学原論で学んだ内容を振り返り、判定競技の特性についてまとめる。 ④復習（120分）授業内容を振り返り、判定競技の試合計画における一般的特性についてまとめる。
13	①授業テーマ トップ選手の試合計画―判定競技② ②授業概要 試合において最大の競技力発揮のためには、トレーニング以外の様々な準備と試合当日の行動が重要となる。この点について判定競技の特性を踏まえた具体的な例に基づき問題点を抽出し、実際の場面で自らが応用できるようにする（I 1）。 ③予習（120分）試合当日の行動について、具体的な例を列挙する。 ④復習（120分）討議した内容についてまとめる。
14	①授業テーマ これまでの学習内容における理解度確認（リアクションペーパー②の3回目）および解説

		②授業概要 半期にわたり学習した内容についての理解度を確認するためリアクションペーパーを実施する。その後に解説される内容を踏まえて、半期にわたる学習内容の理解度を深める（F 2、I 1）。 ③予習（120分）半期にわたり学んできた内容を振り返り、試合に関わるさまざまな課題について自分の考えをもとに論じることができるよう準備しておく。 ④復習（120分）リアクションペーパーの内容を振り返り、試合に関わる各課題について再確認をする。
	15	①授業テーマ 試合論におけるまとめ ②授業内容 半期にわたり学習した内容を総括し、試合で最高の競技力を発揮するための理論と方法について再確認する（E 1、F 2、I 1）。 ③予習（120分）これまでに学習した授業内容を振り返り、各テーマについて自ら説明できるようにしておく。 ④復習（120分）これまでの内容を振り返り、今後の学習方針を考える。
関連科目	トレーニング計画論（SSCS2321）、トレーニング計画論演習（SSCS3611）と関連します。	
教科書	日本コーチング学会 編集：コーチング学への招待（大修館書店）	
参考書・参考URL	村木征人：スポーツトレーニング理論（ブックハウスHD）、マトヴェイエフ LP：スポーツ競技学（ナッパ）、マトヴェイエフ LP：ソビエトスポーツトレーニングの原理（白帝社）	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜2限	
研究比率		

